





門 13  
3517  
香 1

田中 實 印

序



書時の有識小野管と二代實録と  
ていつの日々に名成照一往昔清代乃鏡  
めし。是を思ふととる倭悉れ後  
ありし極成す。狂言にあらはる  
風俗を撰み。管意の物亦々題して。改  
櫻木の袋に組む。趣向は梅をうけ  
く。其海らろく漕後一世に傳へ奉る。

昭和二十九年  
七月九日  
東京



真代本として及ぶな毫れ命に  
春の藤をとりてた人共はげと  
とてあんなを

寛延二

己の

作者は

瑞笈

其笈

八文字

小野篁之釣船

巻之卷

目録

第一 予悪善の二字のよめ謀

遣唐使のありそいお

たれぬ勅使のを攝り

づくはうの人の身























































